

宮崎大学発 都農町かわら版

令和5年9月号



宮大が都農町寄附講座等
で行っている活動や情報を、
定期的にお知らせします！



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町とし
て単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、宮崎県内では初めての取り組みです。

都農に
遥かな
ポテン
シャルと
未来を感じ
ました



毎号変わる！ 大学生に聞いてみよう 宮大生インタビュー

やまさき あみか

山崎 愛美華さん 農学部応用生物学科3年生

長崎県出身。井上研究室（微生物機能開発学）所属
趣味：釣り。吹奏楽部に所属、楽器はサクソ。
都農町訪問歴：R3年度「地域活性化・学生マイス
ター」プログラムの地域学入門Ⅱで都農実習に参加。
今8月に都農ワインで8日間収穫アルバイトに従事。

Q. 都農ワインの収穫アルバイトをしようと思った動機、仕事内容を教えてください。

県内の農業系の会社で元インターンシップをしたいと思っていたところ
でした。都農ワインは候補に入っていたので、チラシを見たときにすぐにコンタ
クトをとりました（一番乗り！）。

経営方針を赤尾社長から直々に聞いたり、見聞きするだけでなく、実際に体
を動かして分かることも多かったです。摘み取りだけでなく、雨の日は工場
で仕込み、ラベル張りの作業も体験しました。作業しながら、色々な大人の人
とお話ができて面白かったです。

Q. アルバイトをしてみたの感想は？

朝5時過ぎに家を出て車を運転して木花から都農まで行き、そのまま暑い中
での作業だったので体はキツかったけれど、アルバイトをしてみて良かった。
満足です。収穫ベテランのおじいちゃん、おばあちゃんがスゴイ！！のひと言。
そして、宮大キャンパスで出張都農ワイン収穫祭もしてほしいです！

収穫
頑張った
ぴょん！



夏休み宮大生収穫アルバイト受入れby都農ワイン

8月後半、宮大生7名が2週間にわたって
一人あたり3～8日間、収穫体験アルバイト
をさせていただきました。圃場でリーダー
として、学生を受入れてくださった
河野さんに伺いました。



かわの としみつ

河野 稔晃さん(株)都農ワイン
農園管理責任者

Q1. 学生の貢献はどれ程でしょうか。

A. 1日3～5トンスタッフ約12名+

学生アルバイトで収穫しました。朝7:30から16:00頃まで、1ケース
当たり約10Kgを約30ケース300kgくらいを一人で収穫してもらいま
した。学生さんのおかげもあって、予定よりも早く収穫が終わり
助かりました！来年も8月、頑張る学生さんをお待ちしています！

Q2. 初めて作業に来た学生達との交流で感じたこと、感想など。

A. 今回来た学生さん達は本当にしっかりしていて、根性もある
など感じました。収穫作業は慣れない上に暑さも重なって、とて
も辛かったと思いますが、みなさん手を緩めることなく最後まで
頑張りぬけたことはすごいと思います。

Q3. 学生に関わるハプニング、エピソードなどを教えてください。

A. 頑張り過ぎて熱中症になったり、休憩時間の会話が徐々に静
かになっていったり(笑)。ぶどうの絞りカスに興味をもって自分の
研究に繋げようとする学生がいたりして、見ていて感動しました。

参加した学生7名(農・工・地域学部)の感想(*)は、
良い経験ができた皆ポジティブ。そして収穫など裏
舞台を知ることによってワインへの関心が高まったと答えて
くれました。 ※アルバイト学生事後アンケート回答による



Q. 関心のある研究分野について教えてください。

家畜糞尿を燃料に発電を行う“微生物燃料電池”の実用化に
向けた研究に興味があります。地域で電力を賄い資源を循環
させる、そんなサステイナブルな社会を実現させたいです。

Q. 将来の夢は？

社長になりたい(笑)、本気です。畜産農家の種牛ブ
リーダーさんを支援するような取り組みで起業したいの
で、この夏休みは東京で3週間、社会起業家の下でイン
ターンシップをしてきます。

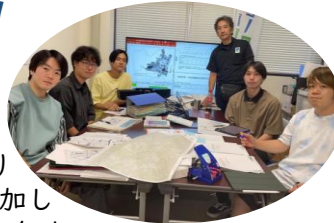
瀬川ゼミ4年生が都農町の居住・生活環境に関する 実態調査報告書（200ページ）を刊行！

この度瀬川ゼミの4年生3名が、昨年度から取り組んだ町内アンケート調査をはじめとする調査結果をまとめた研究・活動報告書を刊行しました。

「町内約2400件の調査票配布に約450名の方が回答下さりご協力いただいたこと、温かく協力的な姿勢で調査に参加して下さった町の方の優しさが何よりも嬉しかった」と4年生。調査データの分析、データ作成、執筆、校正まで3人でそれぞれの得意不得意分野を補い合いながら協力して作りあげました。

感想には、「自分たち学生が、住民の方の声を行政に届ける中間役になれたことが良かったと思う」「都農町のことを調べてくれてありがとう、頑張ると町の方に言われて調査をやっている良かったと思った」「一つの課題を色々な角度と方法で調べることが研究につながることを実体験できた」と確実に成長した様子。

報告書は国会図書館、県内図書館をはじめ役場、自治体関係部署などにお届けしました。データでも全報告書をご覧いただけます。力作を是非ご覧ください。



報告書はこちら↓



インターンシップ報告① 受入れ先：つの未来財団(8/16~9/15)

地域資源創成学部3年
後藤怜菜(ごとうれな)さん
に聞きました。

毎日、財団のオフィスで皆さんの会話を聞くだけでも、まちづくりのリアルが垣間見られました。



まちづくりに関心があって、つの未来財団でのインターンシップを志望しました。頂いたテーマは「都農神社東側空間の日常的な活用法の提案」です。8/18の川祭りでの来場者アンケート調査では、調査項目の作成と聞き取り調査を財団の山内さんに教えていただきながら行いました。祭り中、2時間半の間に25名の方にご協力いただきました。一人ひとりへの聞き取りは初めての経験でしたが、皆さん優しく答えてくださり、アンケート調査に自信ができました。

その後も都農神社に通って宮司さんや参拝者へのインタビューをしています。結果をまとめ、実現できそうな活用方法の提案をしたいと思います。色々なことを組み合わせて新しいものを生み出す可能性を教わり、新たな提案をする経験が自分の新鮮な学びになっています。ありがとうございました。



9月のけんこう日記から (9/9抜粋)

HALTに気を付けろ①

by桐ヶ谷先生

HALTは、Hungry：空腹、Angry：怒り、Lonely：孤独、Tired：疲れ、の頭文字をとった言葉です。アルコールや薬物などの依存症からの治療中に、くじけそうになるのはこの4つが多いと言われています。このような状態にあると、物事への思考力や判断力に鈍って、再飲酒や再乱用につながりやすいそうです。



けんこう日記

HALTとは停止する、立ち止まるという意味があります。HALTを感じたときは、立ち止まって、何か食べ物を口にしたり、深呼吸で気持ちを落ち着けたり、誰か話をしたり、疲れを溜めないように休むことが大切だったりします。

☆☆今月の実習生紹介☆☆

樋口 和幸(ひぐち かずゆき)さん 医学科6年生

8/28~9/21 町立病院にて地域包括ケア実習



ひと言：4週間お世話になります。都農町での実習を通して地域医療や総合診療の理解を深めていきたいと思っています。毎日先生方に指導していただいたものを吸収し成長していきたいです。

◆◆医学部医学科の実習について◆◆

現在、都農町立病院を中心に実習中の医学生は、秋から次の学年に入れ替わります。昨年11月から今年の9月までに都農での実習に参加した学生は計9名。2週間から12週間まで期間は様々ですが、病院の多職種や都農町の方々に支えられて無事実習を終えることが出来ました。現在6年生である彼らは、このあと大学を卒業するための試験や、国家資格である医師免許取得のための試験に臨み、卒業後は研修医として各地の病院で勤務します。

また、11月から現在5年生の学生が実習に参加します。引き続きご指導、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



デジタル版

編集・作成：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構
発行日：2023年9月21日（原則毎月発行）
発行元：一般財団法人つの未来まちづくり推進機構
問い合わせ：0983-32-1270（つの未来財団）